【実施区域・面積】

唐津串浦港周辺沿岸域　20.1ha

【生態系タイプ】

沿岸域　藻場・岩礁

【実施区域の状況】

申請サイトは、唐津市鎮西町串の先端部、玄界灘の北西に位置する。漁場は対馬暖流の影響下にあり、漁獲の対象となる種類は多岐にわたり、古くからアジやブリなどを対象とした定置網やイカ釣り、刺網漁業、ウニ類やアワビなど素潜り漁が盛んに行われている。申請サイトとその周辺海域は申請者が中心となって漁業と環境保全活動の両立を長年に渡り実施しており、日本全国で進行している「磯焼け」に対し、食害生物の除去などの活動によって多様な植生を維持している稀有な場所となっている。また、長年の藻場保全の活動により九州で初めてJ-ブルークレジットの認証を受けた。

【目標】

磯焼けを藻場の再生・保全を通じて改善することで、ブルーカーボンによる気候変動対策や海洋生物のゆりかごとしての生態系保全、市域の環境教育や交流人口の増大など漁業を持続可能なものとし将来へと豊かな漁場をつなげることを目的とする。

【主な活動内容】

1　全体像

・海岸や海中のゴミ回収や大量発生したウニ等の密度管理を行う。

・大学研究機関と連携し、保全活動を推進していく。

・唐津市版地域循環共生圏の取組から鉄鋼スラグの活用や栄養塩の研究などを行い、申請エリアでの藻場保全の活動をさらに推進していく。

・今回申請対象とする海域にとどまらず、限定された人手による活動を持続的にしつつ、周辺海域全体への波及的効果をもたらす。

2　各サイトの現況と重点的な活動

・大量発生したウニによる藻場への食害被害が特に大きいことから、潜水によるウニの密度管理を重点的に行っている。合わせてエリア内にて定期的にモニタリングを実施している。

・申請サイト内にて母藻を設置し、藻場自生を促す。

【モニタリング計画】

- 潜水により魚類・海藻類等を中心に調査を行う。基本的には本業の漁業操業海域になっており、サイト内に生息生育する動物・植物を可能な限り把握する。
- 定期的に環境DNAの測定を行い、魚類の調査を行う。

【実施体制】

- 唐津市、佐賀玄海漁業協同組合、大学、市民団体等















【計画期間】

２０２５年９月～２０３０年３月